

蘭領ボルネオ (南洋叢書 第三四卷)



ボルネオ島の街

14.5-80



+1200700356693*

3

大正十三年十月

南洋協會臺灣支部



始



一、本書は英國外務省が平和會議に臨まんとする代表員の參考資料とせんが爲め、一九一七年の春特に一課を新設し専ら之が編纂に當らしめたるものなるが、所說的確簡潔にして閣領ホルネオの情勢を知らんを欲する者の爲めに便益なるべきを以て之を譯出することとせり。

二、本書は閱覽の便に資せんが爲め筆寫に代ゆるに印刷を以てしたるに過ぎずして敢て公刊したるものにあらず。

大正十三年八月

南洋協會臺灣支部

蘭領ボルネオ

目次

第一 地文及政治地理

- 一 位置・境界……………一
 - 二 表面・海岸・河系……………一
 - 三 気候……………四
 - 四 衛生……………五
 - 五 種族・言語……………六
 - 六 人口……………八
- 分布・都邑及村落・移動……………一〇

第二 政治史

- 年代記摘要……………一〇
- 初代史……………一〇
- 和蘭の統治……………一〇

目次

目次

英國との關係
サラソタ

第三 社會及政治的狀態

一 宗教 六

二 政治 七

三 教育 八

第四 交通

一 島内 八

イ 道路

ロ 河川

ハ 鐵道

ニ 郵便・電信

二 島外 二

イ 港灣

ロ 海運航路

ハ 海底及無線電信

第五 産業

一 労働 六

二 農業 三

イ 商用有價物産

ロ 林業

三 漁業 三

四 鑛業 三

金剛石・金・銀・石炭・石油

五 製造品 元

第六 商業

一 對内 四

二 對外 三

イ 輸出

數量及價額

仕向國

ロ 輸入

目次

數量及價額
原産國

第七 財 政……………

第八 總 說……………

ボルネオ隣接諸島……………

附 録……………

ボルネオに於ける境界制定に關し一八九一年六月二日に於てなれる大不列顛國及和蘭國間協約の抜萃

五〇

五二

五三

五五

蘭領ボルネオ

第一 地文及政治地理

一 位置・境界

ボルネオは、其大なる點に於て、馬來群島中第二位に在り、約二九〇、〇〇〇方哩の面積を有す。其中全體の四分の三餘にして和蘭の十七倍に當れる面積、即ち二一二、七四〇方哩は和蘭に屬す。本島は群島中中央位置を占有し、スマトラ、爪哇、セレベス、比律賓及び新嘉坡より殆んど均等の距離に在り。

蘭領ボルネオは三面海を以て其天然の境界となし、北方の一面には ^{カッパラス}Kapuas 山脈並に其東北延長ありて蘭領と英國保護領即ちサラワク及びブルネイ、並に英領北ボルネオとの間に於ける天然の境界を形成せり。東北方の境界は北緯四度一〇分の緯線と符合すべき旨の取極を設定せり。

二 表面・海岸・河系

表 面

本島の脊骨はカプアス山脈にして、蘭領に於ける其最高點は ^{テバング}Tebang 山 (Tiban 六、〇〇〇呎) な

り(英領北ボルネオにては Kinabalu 山は一二、〇〇〇呎以上の高度に達す)。同山脈より國土漸を逐ふて傾斜し、先づ中間丘地の一帯を経て遂に沼澤多き濱海平原と成る。三、〇〇〇乃至五、八〇〇呎の高度に達せる山嶽地帯には、カプアス山脈の外、Mulu 及び Selawati 諸山等カプアス南方に連互せるものを含めり。同地帯は多數の峻岳及び平岳の或は單獨に、或集團的に諸所に點在するものを有せり。

山岳地域は稍丘陵地帯に變ず。丘陵の高度は二〇〇乃至三〇〇呎に及び、長く横嶺をなして平原中に降下し、處々殆んど海岸に近接するに至るものあり。

丘陵地帯下に所在せる原野は概ね乾涸にして平坦なれども、漸次に殆んど全沿岸地帯に互りて之を縁取る沼澤地域と變ず。

國土の大部分は鬱蒼たる森林之を蔽ひ、其間唯一の交通方法は河川に依り、稍や高地に至れば獵道を有する處なきにあらず。

海岸。

通則として海岸は平坦に且つ沼澤多く、マングローブ濕地之を界限す。其脊後には密林ありて到底入るべからず。山嶽の海濱に近接せる處を除けば、海岸は概ね低くして海面より高さこと幾許にも達せず。沿海一帯に淺く、且つ暗礁往々にして遠く海中に伸長し、殊に南方沿岸一帯に於て甚だ

し。一方河川より流下する沈泥ありて幾多大なる三角洲を形成し之をして遠く海中に突出せしむ。海岸には港地甚だ少なし。江灣は概ね開濶的にして爲めに碇錨安全ならず。東海岸に在る諸港中最良なるはバリクバンなるが、他の諸港と同じく河口に在り。

河系。

由來ボルネオは多數の河川を有し、流程頗る長し。蘭領ボルネオに於ける最長諸河は皆其源をテバン山地に發す。本島の河川は殆んど皆山地を経て急下するを以て、急瀑奔流の多さと且つ諸川の交切點に於ける三角洲及び水道の形成多きとの兩特性を有す。通則として諸河概ね多大の距離に互りて潮の干満あり随つて航行し得れども、其河口には砂瀨若くは泥洲の形成あるが故に海上よりの近接に適するもの甚だ稀れなり。河川の氾濫する時は水は隨所の直線部を横斷し新路を打開す。此種の短水道を Pintas (又は Pintasius 若くは Antussius) 切通しの意と稱ふ。舊水路は概ね「行止り川」となり往々一、二の湖水を湛ふ。是等と呼ぶに Danau 沼湖の意の名稱を以てせり。河流は常に其行路を變し、爲めに航運甚だ困難あり。

西部に於ける最要の河は Kapuas (Kapuas = Kapoewas) にして、其流域は西部ボルネオの大部分を占む。源をテバン山の附近に發し、長程凡そ七一四哩(一、一四三浬)、盆地の面積三七、〇〇〇方哩に達す。數多の支流を有し、其最大なるを Melawi となし、Sintang に於て本流の左岸に合す。西部ボルネオ州

首都ボンタイアナは三角洲の最北江岸に位せり。

Barito 河は其長さことカプアスに亞ぎ、往々にして廣汎なる氾濫の素因となる。Samput (又の名 Muntaja) は河口に泥洲の障礙を有せざる南海岸に於ける唯一の河川なり。他の河川も亦若し其河口の障礙を排去するを得ば多大の行程航運に適すべし。河口は通常廣濶なれども淺く、唯満潮時のみ通航し得べき數箇の河川あり。

東海岸に於ける主要の河川は Kutai (Kotei, Mahakkam), Berau 及び Bulungan (Kayan) なり。クタイ河の三角洲は東方二〇哩に突出し、四箇の大なる可航水路を有す。ベラウ河は多數の島嶼を附随せる一大無人の三角洲、及び満潮時吃水一三乃至一五呎の船舶を通航せしめ得べき二箇所の主要河口を有せり。ブルンガン河は特に其急湍に富めるを以て有名なり。此種急湍は流れの迅速なる點に於てボルネオに於ては他に類を見ざるものなり。更に北方に至れば Segajap 及び Djinko の二河あり。

三 氣 候

ボルネオは元來天候温度に顯著の差異を有せず。全島の氣候は炎熱濕潤なり。降雨甚大にして嚴密に之を謂へば乾燥期を有せず。年内何れの月にも降雨あり、最も旱涸の歲に於てすら月内雨を見

ざることなく、平均降雨五日を下りたることなし。本島は季節風の影響下にありて、赤道以北は四月より十月まで西南季節風、又十一月より三月まで東北季節風の到るあり。更に赤道以南は同兩期中交互に東南及び西北季節風到れり。兩季の過度期には雜種の風ありて之を標示す。

海岸地帯の氣候は比較的に健康にして、氣温は日出時華氏七二度(攝氏二二度)、午後三時華氏九〇度(攝氏三二度)乃至華氏九二度(攝氏三三度)、日没時凡そ華氏八二度(攝氏三三度)なれども、夜間は濕氣多し。奥地の氣候は甚だ堪へ難く、氣温は山地を除けば更に高し。

Banjermasin の平均降雨は九六・二吋(二四四糎)なるが、降雨最多の月は十二及び一月なり。Pantik Japan の平均雨量は九二・一吋(二三四糎)にして、其最も多きは十二月とす。Pontanak の平均降雨は一・二九吋(三二七糎)、十・十一の兩月を以て雨量最多の月となす。上記の諸地に於ては九月を以て通常最乾の月となせり。斯の如き強烈なる降雨に加ふるに、多數の河川、鬱茂せる森林及び數多の沼澤を以てせるが故に過度の濕氣を發生せる蓋し宜なりと云ふべし。

四 衛 生

本島はニウ・ギニア及びスマトラの或る地方に比較せば寧ろ或は健康地たるべけんも、氣候の状態上極めて健康地と稱し難し。赤痢の流行は蓋し不良河水の然らしむる處たるべく、マラリヤの流行

も亦居留地位置の關係上、即ち或はマングラツ沼地若くは低地の河畔に在るが爲めならん。土民間には癩患に似たる皮膚病を發見し、脚氣も時々襲來し、沿岸の都邑には往々虎列拉病の襲撃を受けることあり。天然痘猖獗を極めたれども種痘を勵行したるを以て實際上之を撲滅するに至れり。眼炎珍らしからず、象皮腫亦屢々沿岸地方に之を見る。ボンテイヤナは健康なる氣候を有すと稱ふるも、良飲料水の缺乏に苦しめり。健康上パンヂアルマシンの名聲は甚だ不良にして、年内最も不健康の時期は十月より十一月の初めなるが、其頃旅行者は殊に熱病に冒され易し。

五 種族・言語

種族

隣接諸島の類例によりて判斷するに、嘗てボルネオに占住せりと思はるべきネグリト人種の痕跡なし。現在の住民は Dayaks (Dayaks) 又は Dayaks。是れは馬來侵入以前の種族を代表するものにして蘭領ボルネオの奥地方面に漸次壓迫せられたるインドネシア人たるなり) 及び馬來人其他の移住民(是れは海岸又は多數河川の行程に沿ふて居住地を有する者)の二種に之を分類するを得べし。然かしダヤクなる呼稱は、現今之を奥地の異教徒たる住民、又馬來なる名稱は之を主として海岸に位する回教信徒に對して使用せり。ダヤク人及び馬來人との間に於ける相異は人種的と謂はんよりは寧ろ社會的及び宗教的なり。相互の差異甚だ輕微にして、ダヤクは稍々長身、薄色且つ少しく活氣あるもの、如し。兩人種間には雜婚多く行はれ、此種契合の産兒は常に之を馬來人たると同時に回教徒なりと看做さる。又ダヤク人の改宗してイスラム教徒たるときは自ら馬來人と稱せり。由來馬來人はダヤク人を取扱ふに輕侮の念を以てす。

ダヤク族は之を四箇に類別するを得。(一) Kayans 人。即ち本島の中部に住居し、純カーヤン族以外に Bahans, Kenyas 及び Kinyans 諸族を包含せるもの。(二) Ulu Kayans 人。即ち島の東南部に位する者。(三) 西部多數種族の一般的名稱を有せざるもの。(四) 島内隨所に散在せる放浪種族、就中 Pinans 族は是なり。

奥地のダヤク人は通常放浪の民なり。然れども偶々永久的性質を帯びたる村落生活を營むことありて、斯る析柄其家屋は長方形の一戸を以て成り二十家族以上茲に同棲す。

ダヤク族中、體質上最美の民はケンヤ人なれども、手藝に最も巧なるはキャン人なり。ボルネオに於ける馬來人の侵入は明瞭ならず。然れど其口碑に據れば既に六〇〇年以上此地に居住せりといふ。馬來人はダヤクと異なり部落的組織を有せず。南部に於ては一時恐らく著大の數を包容したりと思惟せらるべき爪哇人を悉く同化せり。

東海岸の一帶及び西海岸の若干箇所にはセレベスより渡來したる多數のブギス人あり。大多數の

支那人探金の目的を以て本島の西部に集まり、目下主としてボンティアナ及びサラワク國境との間に在留し、尙其他奥地遙かに侵入せる所多し。

蘭領ボルネオには凡そ三、〇〇〇の亞刺比亞人ありて、其多數は住期甚だ久しきに互れり。且つ過去半世紀の間に、概ねマドラスより到れるクリン族なる印度人の中にも、亦各都邑地に於て小商業を營める者多し。

言語

部落相互の間には通過し難き深林あり。之が爲めに言語相異の程度を益々強からしむ。斯くて地理的には頗る相近き諸村の土民と雖も言語互に相通せざることあり。ダヤク人は、概ね二三の方言を知り、就中最も一般的に使用せらるゝは Nyaju, Dayaks 人の言語なり。近來商業の遍く行はるゝと共に慣用語として簡單なる馬來語の普及使用せらるゝこと速かなり。數多ダヤク種族には自ら發明せる文字を有する者なし。

六 人 口

分 布

一九〇五年蘭領ボルネオに國勢調査を行ひたれども、國土の大部分未開なるが故に完全なり謂ふ

べからず。随つて其筋の觀測によるも實數遙かに公表の數字に超ゆべしと謂へり。別に亦一九一三年に對する其筋の推定に従へば、西部ボルネオ州は四六七、〇〇〇、南東部ボルネオ州は九〇五、〇〇〇、合計一、三七二、〇〇〇にして、一九〇五年の調査數を超ゆること一四〇、〇〇〇なるが、斯の大増加は、蓋し南東部ボルネオ州に於ける支那人の大移住に基因せり。上記數字の詳細を擧れば、即ち(一)西部ボルネオ州土民四一一、九一二、歐洲人三四九、支那人五二、九五七、亞拉比亞人一、三〇六、他東洋人六三八。(二)南東部ボルネオ州土民一六、〇九三、歐洲人七八二、支那人八五、七九〇、亞拉比亞人二、四三二、他東洋人二〇四なり。

住民は主として各大河及び支流の沿岸に定居し、奥地に於ては無人の森林地帯によりて互に相分たる。故に蘭領ボルネオの大部分は人口甚だ稀薄、課税の標準を以て人口を推算するに大凡一平方哩僅に二若くは三の割合たるに過ぎず。主要の植民地は Negara 及び Martapura の各地の Kamboja 及び Boniatana 間に位する地方との港に在り。而かも尙ほ且つ其人口は一平方哩に對し四〇乃至五〇を起ゆること稀れなり。

都邑及び村落

西部ボルネオ州 主たる都會は其首府たるボンティアナ(一九〇五年の人口二〇、九八四)にしてカブアス河三角州の北方に所在す。民家は杭脚によりて水上に高く之を建造し、街路の大部分は滿

潮浸水せり。

其他重要な都邑は金山の附近に在るサムバス(人口一二、〇九六)、Mampawa 即ち Mempawah (三、三八九)、Tajan (一、四五二)、シントタン及び Montrado 等なり。

南東部ボルネオ州 バンヂャルマシ(一九〇五年の人口一六、七〇八、其附近人口四〇、〇〇〇乃至五〇、〇〇〇)は即ち州の都にしてボルネオ最古貿易港の一なるが、廣汎なる沿岸貿易を有せるが爲めボンタイアナに優りて重要なり。

其他の都邑は石油事業の中心たるバリクババン(八、二〇〇)、Tenggarung 即ち Tenggarong (六、〇〇〇)、Samarinda (四、七三三)、Marapura (四、〇〇〇、附近には九、〇〇〇の人口なり)、Sampit (凡そ四、〇〇〇)及び Pahi 等なり。

移 動

人口の増減を示すべき計數を得るに由なけれども、ダヤク人は急速増加の情勢を有せず。之れに對する諸種の原因を擧ぐれば、首狩の慣行(近年或程度までは此惡風を除くことを得たれども)、出生率の極めて低きこと、及び赤痢並に熱病の流行に因れる高度の死亡率等之れなり。

第二 政治史

年代記摘要

- 一六〇〇年 和蘭遠征軍北方ブルネイに寄港す
- 一六〇六年 南方バンヂャルマシに於て關係を開き、一六六九年之を廢棄す
- 一六〇九年 西北方サムバスに商館を建設し、一六二三年之を放棄す
- 一六三五年 東方クタイ(Cotai)に對する和蘭の關係
- 一七一一年 バンヂャルマシに於ける商館の開設
- 一七七一年 西方ボンタイアナ及びマムバワに於て商館を開き、一七九一年之を放棄す
- 一七八七年 バンヂャルマシ和蘭東印度會社へ割讓せられ、一八〇九年放棄せらる
- 一八一二年 バンヂャルマシ英國の主權を認む
- 一八一六年 和蘭其利權をボルネオに再收す
- 一八二四年 全西海岸和蘭國旗の治下に入る
- 一八二六年 東南部に於ては和蘭バンヂャルマシ地方に廣汎なる土地を獲得す
- 一八三九年 北方に於ける英國勢力の建設
- 一八四一年 サー・セームス・ブルークのサラワク王受命
- 一八四四年 クタイ和蘭の宗主權承認

一八五〇—一八五六年 反抗的支那鑛業者協會に對する遠征

一八五九年 バンヂャルマシンの土王廢止

一八八二年 英國北ボルネオ會社の設置

一八八八年 北部に於ける英國の保護權獲得

一八九一年 和蘭竝に英國間の國境條約

初代史。ボルネオに初めて上陸したる歐洲人は、一五二一年同島を發見し、續いて土民との商業關係を開きたる葡國人なりき。一六〇〇年 *Olivier van Noort* の率ひたる和蘭遠征隊はボルネオの西北海岸に在るブルネイに寄航し、一六〇九年和蘭東印度會社は西海岸に位せるサムバスの主權者と契約を結び、同所に商館を建設したるも、一六二三年に至りて之を放棄せり。斯くて一七七一年亞拉比亞人なる會長 *Aldir Rahman* によりてボンタイアナ州の建設せらるるまで相互の關係を回復することなかりしが、ラーマンの即位と共にボンタイアナ及びマムバワに商館の開設を見たりしが、其後一七九一年雙方共放棄せられたり。

南方バンヂャルマシントは、一六〇六年及び一六六九年間一時的の關係存したりしが、十八世紀の初頭更に之を再始したり。即ち商館の一は一七一一年バンヂャルマシンの市内に、又一は一七四七年 *Telus* 島内に之を建設せり。此の外貿易保護の爲め要塞を *Tabanio* に築設したり。一七八七年

土王は其全土を舉げて之を和蘭東印度會社に讓渡したりしも、一八〇九年に至り兩所の商館共に利益を齎らざるが爲め、當時の爪哇總督デンドルスによりて放棄せられ、爾後一時歐洲人の勢力はボルネオより全然其迹を斷てり。一八一二年バンヂャルマシンの土王は當時東印度の霸王たりし英國の主權下に屈服したるも、ボルネオに於ける和蘭の覇權は一八一六年再び返還せられたり。

和蘭の統治。斷えず海賊及び支那人の爲めに悩まされたる西海岸の諸國は、欣然として和蘭の主權に服し、一八二四年に至り西部全體は和蘭國旗の下に従屬せり。然れども海上掠奪は貪慾なる馬來諸王等の教唆に依りて依然として繼續したりしかば、一八二八年に至り *Mattang* 及び *Simpang* の土王を廢し、*シニア* の或王をして是に代らしめたり。

和蘭の勢力は南方に於ても亦漸次進展し、一八二六年バンヂャルマシンの土王は廣濶なる奥地一帯と共にボルネオの東海岸に於ける重要なる版圖を和蘭に割讓し、且つ王位に對する繼承者及び該州に於ける最高執政官の選任に係る和蘭の權限を承認すべき旨を契約するに至れり。然りと雖、繼位に關する和蘭の干涉は、結局多大の軋轢、陰謀及び叛亂を誘致したるを以て、一八五九年和蘭は土王制度を廢止し是を和蘭領土として宣言することに決定せり。然れども叛亂の餘燼多年に互りて熾ぶり一八八六年に至りて初て之を熄滅するを得たり。

和蘭遠征隊の東海岸に於けるクタイ(即ち *Chai*)國を訪問せるは遠く一六三五年の事に屬し而も該

地方との交通は時々パンチャルマシンを経て行はれたりとも雖も、土王と協約を結び之れによりて後者の和蘭主權を承認したるは、漸く一八四四年に於てなりき。一八四六年初めて副理事官の任命を見、一八五〇年新協約成り、繼いで一八六三年の協約締結せられ、同地方は今猶ほ其效力の下にあり。アチン(スマトラ)の戦争中クタイ國は和蘭に對し貴重なる援助を與へたり。

支那人のボルネオに移住したるは數百年の久しきに互り、殊に十八世紀に於ては新金坑の發見によりて著しき移住を見たり。支那人は *Montano* 地方に於て其各種地方的公司の聯合によりて組織せられたる共和政體を設立し和蘭政府の權力に反抗したるを以て、同政府は之に向つて軍事遠征隊を派遣したり。戦争は一八五〇年より一八五六年まで繼續し、政治的團體としての公司の根絶を見たるは漸く一八八四年なりき。

英國との關係 英國東印度會社は、夙に一六一四年パンチャルマシンの通商を行ひ、一七〇三年同地に商館を設置せり。一七〇六年要塞を築きたるも、翌年支那人起ちて英人を驅逐したり。一七三七年に至りて、貿易は英國船舶によりて回復せられ、時々胡椒の貨物を茲に求めたりき、ボルネオに於ける英國各權の設定は一八三九年サー・ゼームス・ブルックによりて達成せられたり。但し是はサラワクのダヤク族に對抗せんが爲め卿のブルネイ王に援助を與へたる結果に因る。

サラワク。サー・ゼームス・ブルック先づブルネイ王の臣屬として一八四一年サラワクのラヂヤに

任命せられ、後土王の有名無實たる主權下に於ける其獨立を認められたり。サー・ゼームスは遍くサラワクに秩序と安寧と規律ある統治を設定し、且つ英國軍艦の援助を得て海賊を剿滅せり。一八四六年英國の爲めに、後重要な給炭地となりたるブルネイ河口の *Lahuan* 島を獲得したり。

ラヂヤ・ブルックは一八四七年英本國を訪ひ、從男爵の位を受け、且つラプアンの總督及び總領事に任命せられたり。其後彼は *North Borneo* 及び *South Borneo* の海賊に對し徹底的なる討伐を行ひ、之に關聯して無益の苛酷を極めたる廉を以て英國議院の譴責する處となり、此攻撃に對しては奮然として辯護に努めたれども、總領事たる任務を解かれたり。

サー・ゼームスは一八五八年サラワクの統治を其甥キャプテン・ブルックの手に委ね、再度英國に赴けり。一八六二年其サラワクに歸るや、甥は彼に對して敵對的態度を執りしが、遂に事なきを得たり。而して一八六八年ゼームスの死後、其別甥チャールス・ジョンソン其後を襲ぎサー・チャールス・ブルックなる名の下にサラワクのラヂヤとなりたり。一九一七年チャールスは其子チャールス・ウイナー・ブルックの繼承する處となれり、其間英國の一シンヂケートは盛に北ボルネオに於ける利權獲得に努めたりしが、一八八一年十一月一日勅許狀の附與せらるゝに及び、一八八二年五月英國北ボルネオ會社設立せられ、爾後會社は既得未得の大地域に對し著々行政を行へり。

一八八八年英國政府はサラワク、ブルネイ及び英領北ボルネオの諸州を以て正式保護國たらしむ

る旨を聲明し、惹て境界に關する商議を和蘭英國兩者の間に開始し、一八九一年六月二十日倫敦に於て契約を調印せり。

爾後蘭領ボルネオの歴史は、主として屢々行はれたる探險隊の派遣及び東部ボルネオに於ける石油事業の創設等に盡くと云ふも不可ならず。和蘭の統治は平穩無事なり。

第三 社會及政治的狀態

一 宗 教

ダヤク人其人口の大部分を占め、概ね一の至高造物主を信すれども、土民等は其れよりは天地間に充滿せりと信する惡靈を遙かに重視するの風あり。供物を以て是等惡靈の與ふる災害より免れしむる魔法使は住民の生活を支配す。由來有名なるダヤク族の首狩は、宗教的意義を以て其本體としたり。彼等は斬殺下手者及び其村里の守護者たらしめんが爲めに死者の靈魂を得んとて首級を求む。首級は之を乾燥し、清潔にし、また草花を以て裝飾を施し、且つ多大の恭敬を以て之を取扱ふ。祝祭の場合、ダヤク人は檳榔子其他の贅澤品と共に總て用意したる珍味佳肴の精選品中各少量を首級の前に献供す。然れども首狩の風習は歐洲人勢力の下に消滅の傾向ありて、葬式用若くは婚禮の結納として要すべき首級は、近來必ずしも新物のみにあらず、臨時借用せらるゝものあり。

ダヤク人の間に於ては、回教の進歩遙かに耶蘇教に優れり。馬來人任住者は悉く回教徒なるが、オースドクスならざる爪哇の回教徒と比較するも遙かにオースドクスならざる傾向あるが如し。

基督教に改宗したるダヤク人の數は凡そ七、〇〇〇なりと稱せられ、西部ボルネオ州に於てはカプユシン教僧(舊教)、南東部ボルネオ州に於ては新教宣教師の布教に従へるものあれども、其努力に對し多大の成功顯はれず。

二 政 治

ボルネオの民政は、蘭領東印度の他の部分に於けると等しく、土民をして及ぶ限り土著酋長の直轄下に委せしむるの方針を執れり。但し、該酋長は總督府に於て任命若くは承認し、且つ總督の制定せる制令若くは當該酋長との契約の朋友に準據し監督せらるべきものとせり。

行政上蘭領ボルネオは二州に分つ。(一)西部ボルネオ (二)南東部ボルネオは即ち是にして、其各主都はボンティアナ及びバンチャルマシンなり。此等大地域中總督府の直轄下にあるは僅に部分的にして、各州内には數多の承認せられたる土著支配者を有せり。

三 教 育

教育は自然極めて退歩的なり。バンチャルマシンには歐洲人兒童の爲めにフレール・スクールあり

り、また新教派の一神學校あり。政府はボルネオに二八の學校を維持す。即ちバンチャルマシんに第一級學校一、サムバスに富裕土民の子女に對するもの一校、西部ボルネオに第二級の學校六、及び南東部ボルネオに同第二級の學校二〇等なり。又西ボルネオには「私立」として分類したる七箇の補助金下附の學校あり。極めて最近に至るまで和蘭は土民の和蘭語習得に向つては強烈に反對したるも、此偏見は漸次排除せらるゝに至れり

第四交 通

一 島 内

イ 道 路

蘭領ボルネオは道路甚だ不備なり。蘭領東印度政府の漸く外領地(即ち爪哇及びマドワラを除きたる全諸島)に於ける道路の検査に對する事務を開設せるは一九〇八年なり。蘭領ボルネオの奥地は概ね未だ探險せられずして、密林を以て蔽はると雖も、東部サマリンダより西北端サムバスに至れる海岸には、之を廻りて軍用道路あり。而して一九一四年には多數新道路の開鑿に向つて計畫を準備中なりき。上流マハツカム河にあるLong Trainよりブルンガン谷地に至る山道は最近の重要計畫と云ふべきものゝ如し。

法定勞役は今猶ほ或る地方に於ては道路開鑿の爲めに之を徵發することを得。囚徒の勞働は廣く西部ボルネオの道路開設に之を使用せり。或る市街地には汽力修道機Steam Road Rollerを使用し、マカダム式道路を建設せるものあり。嚴重なる取締法規を設け、以て狭小なる輪縁を有せる土著荷車によれる道路の損傷を防止す。

得らるべき最近且つ確實なる統計を含める一九〇三年公刊の公報摘要書に據れば、當時西部ボルネオには、一九六哩の三等道路、又南東部ボルネオには四二哩の二等道路及び五一二哩の三等道路を有したり。西部ボルネオには弓形橋梁Arch Bridgeは一箇所だも之を有せざれども、竹材其他の橋梁は一五二箇所あり。南東部ボルネオに於ては、一八九六年及び一九〇三年の間に五八箇所の橋梁を架設若くは再設したりしが、弓形種は一箇所、又竹材其他を使用したるは九二五箇所を有したり。南東部ボルネオに對する計數には軍憲直轄下にある道路及び橋梁は算入せず。網用渡船は遍く之を使用す。森林地帯に於ては土民樹幹を併列して道路とせり。是は耐久的なれども頗る滑べり易く且つ不齊なり。適當なる道路系統の施設は、蘭領ボルネオの必要とせる最も緊急事項の一たり。蓋し此方法に俟つて初めて森林開拓上進歩を見るを得なければなり。草木の腐朽は全く本島の禍根にして、若し森林面を減縮するを得ば衛生状態は自らにして改善を見るに至らん。

ロ 河 川

蘭領ボルネオに於て交通上主要機關たるは河川なり。住民の大多數は河岸に住居す。河川の商業的重要程度は、河岸に於ける居住地の發達他に比して優秀なるによりて推定するを得べし。

ボルネオに於ける強烈なる降雨は多量の土壤と草木とを河川に流下し、其結果河口に泥洲を形成し爲めに大船は之に近接するを得ず。東西兩海岸には幾多の大三角洲を形成すれども、南海岸に於ては或る程度に爪哇海の潮流ありて此種の堆積を除去せり。最大河川の床底の如きも、洪水の際に堆積せる砂泥乃至石塊によりて形成せらるゝ、Karamans と通稱せる島及び岬を以て妨礙せらる。河川は屢々其流程を變じ、舊河床は其低端を閉塞したる幾多の連續江湖となる。故に定期の汽船にして航運の爲めに河川を利用せんとせば莫大の費用を投じて運河開鑿を策するの外途なし。

重要程度の順を以て三箇の主要河を擧れば、即ち西部ボルネオの Kapuas、南ボルネオの Irayu 及び東ボルネオのクタイ是なり。因に此等河川の流程測定に用ひらるゝ和蘭の單位は 2 時 (時間) なるが、五六五三米突即ち約 3 英國法定哩に等し。

カプアス河は數多の河口を有し、其最北河口を溯ること數哩の處に州の主都ホンティアナに所在す。上流凡そ三百哩の處即ち Melawi 支流の本流と合せる處なる Singang に於ては氾濫の際其河幅は半哩に達すれども、水準は乾期三〇呎程落下することあり。本河はホンティアナの上流凡そ百哩を距てたる Tayan にまで感潮す。河水の最低期を除けば、吃水三呎の汽船によりて河口より九〇二

料に方れる Pulus Sibau まで航行するを得べし。該地點に於て、河は年中概ね凡そ七〇〇呎の幅員を有せり。一九一一年故府はボンティアナ及びシンタン間に運輸航路を開始し、河狀の許す限り定期に之を維持せり。元來本航路は官吏の旅行、物資と郵便物の運搬のみに對して計畫せられたるものなりしが、現今私人にも亦之が便乗を許す。曳船附屬の家根船を使用し、兩地間の航程三乃至四日を要せり。一九一四年には五二回の航行を爲し、二、〇六二名の乗客を運び、一九一五年には三二回にて、乗客一、六二一名なりき。一九一四年政府所屬船の航行運程は一九一五年の一五、七二七哩なるに比し、僅かに一一、六三六哩に過ぎざりき。一九一五年に於ける航行運程の多きは、水量多くして長途に至りて航行を可能ならしめたるに因れり。主として支那人に所屬せる多數の他曳船も亦、土舟を曳引してシンタン及び其以外の地點間に於てカプアス河上を往來す。

パリト河は南部ボルネオ多數の河川中最重要にして、凡そ四〇、〇〇〇方哩即和蘭の面積を三倍せる盆地を有す。本河の舟航は瀑布によりて局限せらるれども、其東方支流たる Marapaur は其合流點の上流約五〇哩を距てたる同名の市街まで汽船によりて可航なり。マルタプーラ河畔即ち其パリト河との合流點の稍上流に方れる地點に、州の首都にして且つ蘭領ボルネオの最大市街たるパンヂヤルマシ所在す。Negara 河は亦パリトの小支流なるが航行上著しく無障礙なり。

東ボルネオに於てクタイ (Kuching) 即ちマハツカム河は、海中に突出せる廣大なる三角洲を有すれど

も、尙且つ大汽船と雖も海岸より六〇哩を距てたる *Tengaranbo* に達することを得。小曳船は上流二五〇哩に溯航すべし。三角洲の上方近距離に位せる *Zumarinda* はクタイ河盆地の主たる港にして其發展速かなり。

其他さして重要ならざる河川中、記述に値するもの二三之れなきにあらず。西部に於て、カプアスを除き汽船を以て航行し得べき唯一の河は *Kandas* にして、源をサラワクの境上に發せるものなり。當河は往時河岸の蔭に雌伏しボルネオ及び新嘉坡の間にある海上を劫掠したる海賊の爲めに著名なり。吃水二五呎の船舶は、小サムバスと稱ふる支流に於て、海を距る四〇哩の地點に在るサムバス街に溯航するを得。

南東ボルネオの河川には、幾多、或る季節中可なりの距離に互り汽船を以て航行するを得るものあれども、其河口は廣濶なる割合には概ね淺し。南部にて *Mentaja* 即ち *Gampit* はサムビット灣に注ぎ、河口の幅員一、一〇〇呎にして比較的障礙物を有せず。北東部の英領を距る凡そ一〇〇哩に方りて流る、ブルンガン即ちカヤン河は *Tanjung Selor* までは汽船を以て可航なるも、同所以上には急流あり。更に北方に在る *Sibu* は五〇哩以上、又 *Sibu* は四六哩に互りて小形船の航行に適し、後者は河口より一五哩間は航洋船舶の航行を可能ならしむ。パルクババンは數年以前東ボルネオに在る一小河流の河口に設定したる植林地なるが、重きを河川交通に藉らざるは蓋し殆んど同所

あるのみなるべし。其繁榮は附近の油田に負ふ處にして、石油は導管を通じて同地へ送致せらる。

ハ 鐵 道

蘭領ボルネオの本土には鐵道を有せず。バンヂアルマシシより總てパリトー河の支流に所在せるマルタブーラ、ランタウ及びタンジュン等への汽動車運轉計畫あるも未だ遂行を見ず。南東岸沖ラウト島には三哩の汽動線ありて、官有炭山よりスターゲンに於ける給炭場へ石炭の輸送に従ふものなり。パルク・ババンに於ても亦類似の短線を有す。

ニ 郵 便・電 信

一九一四年蘭領ボルネオには三〇の郵便局ありて、郵便物はカプアス及びパリトー兩河上にありては官有汽船によりて之が遞送行はれ、又バンヂアルマシシ、パルクババン及びボンティアナクはストラバヤ、パタビヤ及び新嘉坡との間に定期汽船の交通を有す。可航河川より離れたる奥地には組織的郵便事務を有せざるも、政府は隨時土民を徵發し、以て南東部ボルネオの或る地方に於ける郵便遞送に従はしむることあり。

蘭領ボルネオには電信連絡甚だ少なく、一九一四年全延長五九〇哩足らずなりしも、擴大的組織の計畫あり爾來之れが準備に著手したり。主たる陸上線はバンヂアルマシシ及びパルクババン間なり。ボンティアナ及びバンヂアルマシシには電話の設備あり。パルクババン其他には私設電話を有

するものあり。

二 島 外

1 港 灣

蘭領ボルネオの港地は概ね河川に沿って所在し、其殆ど全部は河港たるに過ぎずして、既に河川の部に於て之を叙したり。事熊斯の如きは當領の發展上確かに多大の不利たらずんばならず。即ち例へばボンティアナの如き、之れに近接せんには唯一箇の燈臺あるのみにして、又バンチャルマンに於ては水路不確實にして、兩地共に海を距ること遠ければなり。サマリダも亦可なり上流に所在し近接困難なり。サムバスは接近容易なれども、附近一帯物資多産の地方たらざるが故に重要ならず。ボンティアナの北方マムバツは同名河の河口に所在する一小地たるに過ぎず。東海岸に於て *Kendilo* 河畔の *Pasir*、マラウ河畔の *Tanjung Redeb* 及びカヤン又の名ブルンガン河畔のタンジュン、スロール等は稍々發展的港地なれども、悉く上流に位せり。

蘭領ボルネオに於て遠洋汽船繋留の可能なる岸壁を有する港灣は東部バリクババン及ラウト島のスターゲンあるのみ。前者には英國副領事館あり。同港は常時良好なる水深を有し、潮態の如何を問はず上陸地點に近接することを得。

スターゲン港は四時風浪に對して完全に掩蔽せらる。北方よりの港口は最低大潮時水深三〇呎を有するが故に絶対に安全なり。南方港口は吃水一七呎以下の船舶のみ之を使用することを得べし。兩港口共に燈光及び浮標を以て完全に標識せり。港内には二箇所の官有炭山の給炭埠頭ありて、各最低二三及び二五呎の水深を有す。港底は泥土なり。埠頭には一時間平均一〇〇噸の能力を有せる汽力運炭機及び給水用唧筒を具備せり。給炭用埠頭の兩端には繋船用浮標あり。凡そ二〇、〇〇〇噸を貯炭し得べく、而かも其大部分は掩蔽下にあり。良質の燃料炭は常に之を供給するを得。且つ給炭作業は日夜繼續することを得。燃料炭需給の爲め寄航せる汽船には港税を課せず、且つ通行税も亦之を徴することなし。

ラウト島は亦北方に *Tota Daru* なる町港を有し、一九〇五年同地の人口は五三一の支那人及び一三〇歐人を含み一、六六八名なりき。

貿易額を以てするとき諸港中バリクババン最も重要な位地を占む。其他順位に之を舉ればボンティアナ、バンチャルマンシン、タンディン・スロール及びサマリダにして、之れに次ぐにコタ・バル、サムバス及び *Panangkajene* 等あり。

バリクババンの傑出せるは主として其石油業に基因せる處にして、一九一三年ボルネオの主要港に於ける船舶入航に係る左表を以て明かなるべし。(單位立方米突)

バリクパパン	一、八五三、八九三
スターゲン	九八三、四二二
サマリンダ	八八四、三九五
バンジャルマシン	六〇二、四九二
コタ・バル	四〇四、八二〇
ボンティアナ	二七五、八三五

海運航路

K・P・M社は爪哇と蘭領ボルネオの主要諸港との間に定期航路を維持する爲め、植民地政府との特約を有せり。現契約は一九一六年一月一日より向十箇年にして、蘭領東印度の諸島に互り三〇汽船航路を網羅す。バタビヤよりボンティアナ、又スラバヤよりバンジャルマシン(二二六〇哩)、コタ・バルー及びサマリンダに至る兩航路には毎二週一回の定期線あり。スラバヤより、^{バウヘン}Lawren 島經由バンジャルマシンへは毎月一回の定期線あり。更に新嘉坡及びボンティアナ間(三五〇哩)にも亦毎二週一回線、又ボンティアナよりサムバス、バンジャルマシンよりベラウ、及びバンジャルマシンよりブルンガン(タンデュン・スロール)の各航路に對しては毎月線あり。同社は現にボンテヤアナ及び新嘉坡間には毎四日一回、又新嘉坡よりバンジャルマシンへは毎週一回(隔週一回はスラバヤを經由す)、且又マカッサー及びサマリンダ間には毎二週一回線を有す。略毎二〇日一回を以て新嘉坡より

スラバヤ、バンジャルマシン、コタ・バル、サマリンダ等往復に對し支那人經營の一線あり。戦前北獨逸ロイド社はボンティアナ及びバンジャルマシンへの航路を有したり。

バタビヤの *Nederlandsch-Indische Tanksteemboot Maatschappij*、*Bataafsche Petroleum Maatschappij* 及び倫敦の *Anglo-Saxon Petroleum Company* 等の諸會社は、新嘉坡及びバリクパパン間に常時の航海を持續し、此種運油船の多數は三、〇〇〇乃至五、〇〇〇噸より成れり。

Nederlandsch-Indische Bosh Producten Maatschappij はバンジャルマシンを基點とし、沿岸航路に從へる毎月二回の一線を有し、且つサムバスはボンティアナとの間に定期の交通を有せり。更に支那人に所屬せる多數の船舶ありて沿岸貿易に従へり。

海底及無線電信

ボンティアナより西貢へ佛國の海底線あれども、現今既に或は之を放棄したるなるべし。更に亦同地よりバタビヤに至れる和蘭の一線あり。バンジャルマシンより東部爪哇の ^{ランダンガヤ}Tandangan に至れる和蘭の海底線あり。バリクパパンよりはスラバヤ、マカッサー及び ^{クワンダング}Kwandang 並にメナドへ至れる數線の和蘭線あり。

前記 *Bataafsche Petroleum Maatschappij* は、バリクパパン及びタラカン島に、自社所屬の無線電信設備を有し、K・P・M社の汽船との交信を許さる。ボンティアナ及び新嘉坡兩地の中間に位する

St. Barbe 島に無電の一局を有す。

第五 産 業

一 勞 働

蘭領ボルネオの發達は労働の缺乏によりて甚しく阻礙せらる。道路、水路、橋梁、堤防、衛舎及び旅舎 (Passage-houses) の築造、修理及び維持並に官有品、官吏及び其手荷物の輸送等に對し南東部ボルネオに於ては、政府は土人に對し法定労働を要請することを得。法定労働の義務を課する代りに人頭税を課するの制度は南東部ボルネオに於ては漸次普及するの傾あり。

南東部ボルネオにては法定労働は、若し自由労働の得難き場合、軍用工事の建設修理及び維持に對し之を徵發するを得れども、勞銀率は自由労働に對する其地方の勞銀と同様なるを必要とせり。南東部ボルネオに於て土民より要請し得べき法定労働の最大日數は一年に付二六日なり。

西部ボルネオに於て、法定労働は「天災若くは一般公衆危難」の防止以外、之を土民より要請するを得ず。然れども従前難治たりしモントラドの區域に於ては、支那人は今猶ほ「個人勞務」の提供を強制せらるゝ處あり。

ボルネオの爲め別箇の統計は之を得るに由なきも、一九一四年外領地全體に於て需給せられたる

法定労働の「勞務日數」の總計は、法規上要請し得べき四八、八七〇、〇〇〇日に對し二四、六九五、三三二日に過ぎざりき。

一九〇五年の國勢調査に於ては南東部ボルネオには支那人七、一七四、又西部ボルネオには四八、三四八を算したりしが、爾來南東部ボルネオには多數の増殖を見、現今少なくともボルネオに於ける支那人は一五〇、〇〇〇を以て算せん。蘭領東印度諸他の地方に於けるが如く、殆んど卸及小賣商業の全部を支配する以外、ボルネオの支那人は黽勉土地の耕作に従ひ、而かも島内到處支那人の労働は最も有効に使用せらる。

ダヤク人は人口の大部をなせども、確實なる労働には尙未だ習熟する處なし。

同種族は要するに精勵的たるべき動機を有せず。僅々二、三日の労働によりて、サゴ椰子の樹心より得る採收量は、之を壓搾して片塊となすときは凡そ一年の食糧たるに足るべし。此食糧以外其求むる處は甚だ薄く、且つ野禽魚族共に豊富なるが故に之を得ること頗る容易なり。所謂海ダヤク人は可なりに精勵なる漁民なり。奥地に在る者は概ね狩獵を事とし、殊に羅網乃至係締を用ふれども、亦鎗、弓及び吹管をも使用す。野生の蜜蠟を採集し且煙草を栽培し、其他米、玉蜀黍及び甘藷を耕植す。果實蔬菜は潤澤なり。

蘭領ボルネオには數千の亞拉比亞人あり。然れどもセレベスより渡來して東海岸に移住したるブ

ギス人と等しく、主として小賣商業に従事せり。マドラスより到れる少数のクリン族ありて農園に服役せる者あれども、寧ろ商賈たるもの多し。

一九一三年二月一日、西部ボルネオには、一九八名の爪哇男及び九七名の同女を含み、三八八名の契約労働者ありき。一九一二年十月三日南東部ボルネオには八、二五八の契約苦力ありて、六、一五三の爪哇男、六一八の同女及び一、二〇一名の支那人を包有したり。

二 農 業

蘭領ボルネオは大有望の國土にして、土地の豊饒なる點に於ては爪哇及びスマトラに匹敵すれども、惜哉、尙未だ其農産資源開發の機會に到達せざるなり。推算によれば、全面積の五分の四即ち凡そ一八〇、〇〇〇方哩は密林の蔽ふ處となり、而かも當領の總人口は二、〇〇〇、〇〇〇を超えずと謂へり。

イ 商用有價物産

主たる穀産品は米なれども、水田法によりて之を栽植すること稀なり。南東部ボルネオ(上部クタイ地方を除外す)に於て、政府は前三箇年の平均價格を以て推算せる當年の作物の總價額に對し一〇%を課税す。政府の使用人、酋長及び布教師は無税として五〇〇ガンタン(三噸強に當る)を許さる。

一九一三年西部ボルネオは四五〇噸を輸出し、一五、六二六噸を輸入せり。南東部ボルネオは一八九噸を輸出し、二七、四九八噸を輸入せり。

砂糖、珈琲及び煙草は和蘭人の栽培業者により、ガムビール及び胡椒は支那人によりて栽培せらる。ココ椰子は海岸及び河岸に栽植す。樹脂、木材、護謨及びゴブラは奥地に於て土民之を採收し、土舟によりて河川を下せり。

最要植物産品は護謨にして、森林中より野生として多く採集せるが、一方又盛んにプランテーションの開設に努め、殊にバンヂアルマシン及びボンティアナの附近には概ね *Hevea brasiliensis*、又多少 *Ficus elastica* 種を植えたり。一九一二年ボンティアナ附近に在る *Gunong Putat* 農園は一部分珈琲と混植するも尙は一二三、〇〇〇本の護謨樹を有したり。本農園は倫敦のボンティアナ護謨エステート・リミテッドの支配下にあるアムスターダム・ボンティアナ護謨會社に屬せり。

一九一四年六月一日蘭領ボルネオに於ける護謨栽植面積は四、九六二バウ(八、六八三英町)にして、其分布左の如し。

西部ボルネオ (セエステーイ)

ヘグイアのヌ

護 謨

二、〇三二バウ

珈琲混植

三六バウ

合 計

二、〇六七バウ

第五 産 業

南東部ボルネオ (セエステート)

護 謨	ヘヴィアのみ	ファイカス	合 計
	一、六八一・五	一、二二三・五	二、八九五・〇
		總 計	四、九六二・〇

同一期日に西部ボルネオには珈琲のみを栽植せる三箇のエステートあり。他に珈琲と護謨とを混植せる三六バウの面積を有せり。蘭領ボルネオには「歐洲式」と稱すれども、必ずしも歐人の所有下にあらざる科學的栽培方法行はれ、主として護謨、ココ椰子及び籐に其力を注げり。

ボルネオは果實に豊富なり。Mango (芒果) は本島に其馬來語名「Klementan」なる名稱を與へたる程に多産にして、更に Mangosteen (山竹果) 及び Durian も亦有名なり。Jack (波羅密)、Rambutan、Lansat、多種の蕉實、芋薯、甜瓜及び鳳梨等を産す。

生畜。家畜は少なし。ダヤク人は豚を飼養す。畜牛は甚だ少く、水牛は運搬用として之を飼育し、馬は或る程度まで南東地方に輸入したり。其他外來のものは山羊、犬、猫及び鶏なり。一九一四年西部ボルネオには馬二一八、水牛五三八、去勢牛・牝牛等一〇、三八四、又南東部ボルネオには馬一、三八八、水牛一六、三七六及び去勢牛・牝牛等一一、五一四を有したり。

強大なる猛獸の棲息するものなきを以て、獵獸に富み、鹿及び野豚兩ながら多し。商用上重要な動物は麝香を産せる靈猫にして、其屬種甚だ多數なり。鳥類も亦多く、數種の雉、鷓鴣、鴉、千鳥、

鷓及び鳩を産す。鷓鴣 (Collocalia linchi) の一種は重要にして、其巢は之を海岸の石灰石洞窟に發見し、土民及び支那人によりて食物として愛用せられ、且つ廣く支那之を輸入す。

□ 林 業

ボルネオの森林は未だ猶ほ全然未開拓の状態にあり。林木には凡そ五〇〇種を包含し、其多數は良材を産出し、即ち Bilian 一名 Iron-wood (鐵木) 特に貴重なり。竹及び籐は土民の日常生活上甚だ重要なるが、ニバ椰子も亦頗る調法にして其葉は民家の屋根用となり、ニブン椰子は建築の材料たり。然れども各種椰子の中にて經濟上最も重要なるはサゴ椰子 (Metroxylon rumphii, M. levee 及び M. sagu) にして土民食糧品の大部分を供給し、之に亞げるは即ち檳榔椰子 (Areca catechu) 及びココ椰子なりとす。樟樹 (Dryobalanops camphora) も亦記載の價値あり。森林の可能價値は實に無算と稱すべきも、現在過多の降雨と相合し、全島をして不健康たらしめ随つて其繁榮を阻礙す。隨所に土地は腐朽草木の堆積によりて蔽はれ、且つ奥地海岸雙ながら無數の沼澤ありて熱病を發生し、延いて怠慢病を誘發す。是れ則ちダヤク人をして人類中最怠惰なる種族の一を以て目せしむるに至れる所以なり。

三 漁 業

ボルネオを繞らせる淺海、多數の河湖及び奥地の沼澤等皆多種類の魚族を産出す。然れども土民の鮮乾兩様を以て多大の魚類を消費するあるに拘らず、彼等は一般に生業として漁業を行ふにあらす。併し、一九一四年凡そ二、〇〇〇噸の乾鹽兩種の魚類を南東部ボルネオより輸出せるが、主としてクタイ河の大湖及びネガラ河の盆地にある沼澤の産出に係れり。東海岸即ちマカッサ―海峽及びセレベス海に於ては眞珠採取業行はる。

四 鑛 業

蘭領東印度中鑛物に富めるはボルネオの右に出るものなきは蓋し疑ひなかるべし。金銀は多數の地方に産し、金剛石は諸島中之を産するは唯本島あるのみ。白金はマルタブーラに存在し、鉛はブキト・ボンドクに、又鐵鑛は西及び南東兩地に於て土民之を製産す。銅、安質母尼、亞鉛、銻鉛、水銀及び砒素等も亦之が産出を恐れども、未だ注意に値すべき輸出を見ず。農業の場合に於けると等しく、勞働の缺乏主として本島の天然資源の開發を妨ぐ。此困難にして排除することを得、新資本及び更に科學的方法適用せるゝに至らば蘭領ボルネオの鑛山は多大の利益を齎らすべきや必せり。

金剛石 十八世紀の末頃ボルネオには年額九〇、〇〇〇磅に上れる金剛石を産出せるの報ありしが、本島は古來久しく世界に於ても最良の石を産するの風評高かりき。近時本島に於て發見したる

最大の金剛石はマルタブーラ附近 Gunung Lawak に産し、七七カラットの量目を有したり。マルタブーラ地方に於ける探掘免許は月一盾の割合を以て政府之を下付し、探掘は各種鑛山業特許に含まれざる面積に於てのみ之を行ふことを許さる。一九一三年金剛石探掘に對しては八、一二〇の免許を下付し、一、五九〇カラット價額六六、八〇七盾を産し、一九一四年には凡そ一、二五八カラット此價額四八、七六二盾に達せり。

金剛石は主として西部に於ては即ちカブアス河下流、及びランランダク河の北方に方りて火成岩の貫入及び露出せる一帯の地方、又南東部に於てはマルタブーラ以東岩石の甚だしく變成を示せる地方に之を産出す。金剛石は亦本島二箇の主要面積(西部南東部?―譯者)を結合せる廣濶なる地帯上疎らに散布發見せらる。金剛石床には常に金を含む。

金は鑛脈及び砂礫の兩態を以て之を發見し、且つ廣く散布すれども、最も夥多なるは西端及び南東隅地方にして、更に本島南方の半分にも亦不規則ながら新しき沈積物中に發見せらる。即ちシントンに於ては洪積紀のあり、カブアス河沿岸の霽爛せる岩石中には金の證跡を有し、更にケリム山附近エムバフ盆地に於ける廣大なる地域及びセレソイ河地方には沖積期金あり。此種の徵候は以て科學的試掘を誘發するに足るべし。現今幾多最富の金鑛は既に空竭せるものゝ如く、當今作業せる鑛脈は僅かの收益あるに過ぎざるべし。

支那人は七世紀の久しきボルネオに於て金の洗収を續行せり。一八四八年西部ボルネオに於て彼等が採收せる金の價額は一、三四八、八一〇盾（一一二、四〇〇磅）同年マルタプーラに於ける採收額は五、〇〇〇磅なりと公表されたり一八七五年より一八八〇年に至る期間の公報によれば年額一〇〇、〇〇〇磅を下れることなかりき。實際支那人の採收せる數量は其發表額以上たるを信すべき理由あり。其計數を低下するは明かに當業者の利益たり。即ち彼等は毎オンスに對し課税を受くるの外、常に歐洲人の競争を招來するの悞を有するを以て生産高を祕密にするなり。

一八九七年蘭領東印度に金鐵熱勃興し、凡そ四〇の會社創設せられ、其資本金額約百萬磅に上れり。是等企業の多數はボルネオ關係なりしが、投資の不充分なると重役側に於ける經驗不足の爲め其大部分は悲惨なる失敗に終れり。一八九七年ボルネオのダヤク地方に採金を目的として二、〇〇〇、〇〇〇盾の資本金を以て創設せるKahajan Mijihouw Matsekapjiは、今猶ほカハヤン鐵脈に其作業を繼續すれども、勞働及び運輸の困難を主因として未だ嘗て配當を支拂ふを得ず。

銀。は普通金と共に之を産すれども、産額大ならず。一九〇七年の産額は凡そ三、〇〇〇噸なりき。石炭。蘭領ボルネオは石炭甚だ豊富にして島内到處之を發見するも、未だ廣く之が採掘を行はず。埋藏の數量は頗る廣大なれども、多くは近時の形成に係り、現今未だ其鐵業的價値少なし。マルタプーラ附近の官有炭山は品質不良なると勞働缺乏の爲め一八八四年之を放棄せり。西部ボルネオに

於ては土民の勞役を以て一九一二年二〇、〇〇〇噸以上を産出したるも、一九一三年には僅に一、〇〇〇噸内外に低減せり。南東部ボルネオは一九一三年約一六五、〇〇〇噸を産し、内一三七、〇〇〇噸はラウト島に於て採掘したり。東ボルネオ會社は全く土民より購買することによりて一九一四年クタイに於て一六、八〇八噸を得たり。土民は屢々褐炭より成れる表層のみを作業するを例とし、西部ボルネオにては河航汽船に給炭す。

諸炭鐵中最要なるはラウト島に在りて、其中心地はスターゲン港を距る三哩に方りたる *Sembilang* に所在す。七呎及び六、三呎の二炭層あり。一九〇三年まで同炭鐵は土民によりて小規模の下に作業を行ひ居たりしが、一九〇七年以降其政府の手に收められたる一九一三年十月に至る數箇年中の産額九〇二、二九五噸に上れり。一九一四年の産額は一二八、五〇五噸にして、内一一〇、二三八噸の七六・五五物は私設會社用、又二三・四五物は官用及び公設事業用として之を積送せり。採掘は重に爪哇人の契約勞働によりて行はれ、一九一四年雇用の勞働者平均數は一、九五三名なりき。同年スターゲンに於て給炭せる船舶は二〇一隻に上りしが、内一四八は和蘭、二五は獨逸一八は英國船なりき。一九一三年ラウト島の出炭は一三七、〇〇〇噸に上れり。

石油。の産出は現今ボルネオに於ける主要事業たるに至りしが、僅々數年の間にバクババンをして繁盛なる港たらしめたるが如き急速の發展は、若し勞働問題に於て適當なる施設を得るの曉に

は更に大に發展の域に達し得るの徴候ありと謂はざるべからず。全部東部ボルネオよりせる原油の總産額は一九一三年七六六、五六六米突噸なりき。品種は重油にして、燈油ケロシン以外、燃料及びパラフィン蠟を豊かに製出す。ボルネオ産パラフキンは高度の溶解點を有するが爲め特に熱帶用に適すべき蠟燭の製出に使用せらる。バリクババンのパラフキン工場は世界に於ける最大最良の設備を有せるものの一にして、更に機械油蒸餾に對する新式工場も亦建設中なり。

東ボルネオの一九一三年に於ける生産別は左記の如し。(單位米突噸)

ケロシン	一九一、四六五
燈油	一、二四七
揮發油	八七、七九〇
ストリート・ラン	一三、四八九
パツチング・オイル	二、五〇二
ソーラル及びディーゼル油	三、六〇五
減磨油及グリース	一〇、二四四
パラフキン	二、五九一
蠟	四三四、二八四
液體燃料	

減磨油及びグリースの二、〇一一噸竝に液體燃料の二二二、八五二噸は北東岸沖バリク島の産出なるが、之を除きたる爾餘の數量は總てバリクババンの産出にして、同地には直徑五吋延長六五哩に

達せる導管の外多數の小導管を施設せり。

油庫汽船の大船隊ありて世界の各地に向つて石油産品を輸送す。其大部分は大量の儘積出さるる。雖も、弑力罐入り荷造りも亦同時に行はる。主管權はシエル運輸貿易會社Koninklijke Nederlandsche Maatschappij tot Exploitatie van Petroleumbronnen in Nederlandsche Indie 兩社の手にあり、後者は數多の補助乃至關係會社を通じて石油に關する一切の事業を經營せり。ボルネオに於ては *Batavia'sche Petroleum Maatschappij* によりて石油の採收行はれ、同社は蘭領東印度に於ける石油の生産方面を支配し、總事務局をバタビヤのヴェルテフレデーデンに設置す。アングロ・サクソン石油會社は歐洲への船積を取扱ひ、*Dortsche Petroleum Maatschappij* は蘭領東印度に對する供給の方面を引受け、又亞細亞石油會社は極東他諸國に對する配布を取扱ふ。*Koninklijke Nederlandsche Maatschappij* は名義上蘭領東印度に於て至高の權限を有せりとなせども、最後の支配權はシエル運輸貿易會社を以て代表せる在倫敦の財團と之を分たざるべからざるなり。

五 製 造 業

各種産業上痛切に感ぜらるゝものは即ち勞働の缺乏なるが、併し其本來の嗜好事たる首狩を事實上廢止したる海岸地方に於て、ギャク人は漸次其有せる精力を經濟的有利の職業に向つて傾注する

第五 産業

の傾向を取れり。土民は自己消費の爲め沼澤海泉より鹹水を氣化し、或は家具、炊事器、鐵製武器、及び小舟等を製作す。最も港地に於ける舟大工は概ね支那人なり。ギャク人の間には特定の職業なく、各人皆必要に應じて或は鍛冶となり、又大工其他の職を執る。女子は總て織機、染色及び紡績を習得す。織布の柄模様は決して之を模倣することなく、常に工夫案出するの風習あるが故に、自然土民の美術的官能を涵養することとなり、特に土民の此點に就き名ある所以なり。土民の裝飾には著しき美術的技能顯はる。婦人は珠玉を以て盛裝したる衣服を纏ひ、且つ銅及び白鐵の腕輪を使用す。サロンは新嘉坡より輸入の原料を以て之を製織せり。左表は即ち一九一四年六月の調査に係れる五名以上の職工を雇用したる産業工場なるが、爾後植物油工場にしてパンデヤルマシンに設置せられたるものあり。

種別	西部ボルネオ	南東部ボルネオ
アワック醸造所	4	1
麵包製造所	1	1
製木工場	1	2
金剛石切裁工場	1	6
家具製作所	1	5
製氷工場	1	2
ラムネ製造所	2	1

種別	西部ボルネオ	南東部ボルネオ
機械工場	1	1
金物鑄造所	1	1
礦物性飲料製造所	1	1
石油産品工場	1	2
印刷工場	1	2
機械修繕工場	1	2
製材工場	4	2
造船工場	3	2
鍛冶工場	1	2
石鹼製造所	1	2
植物油工場	2	1

第六 商業

一 對 内

蘭領ボルネオの人口中、支那人の割合は爪哇若くはスマトラに於けるものに優りて大部分を成し、實際上都邑及び大居住地の小賣商業は悉く支那人の掌中に握らる。蓋し特にサマリンダに於けるが如きセレベスより渡來せるブギス人の東海岸方面に商業に従事せる箇所は此限りにあらず。支那人

第六 商業

はボンティアナ及び同市の北また東方地方に殊に多数なるが、近來バンヂアルマシンにも其數を増加し、パリトー盆地一帯に亙りて群居するの狀あり。大多數は農園に従へる労働者なり。歐洲人は全蘭領ボルネオに於て凡そ一千を數ふるのみ。

奥地商業は主として物々交換の法によりて行はる。土民は互に物々交換を行ひ、若くは自産の商
品を以て支那人を對手として爪哇産のクロソク煙草及び綿製品と交易するを例とす。産物は概ね土
舟によりて河川を下し、其品種は即ち鐵器、武器、編製帽及蓆、粗造木製家具、其他少量のコブラ、
蜜蠟、護謨、材木、樹脂、煙草及び胡椒等なり。

商業の中心地はボンティアナ及びバンヂアルマシンなるが、附近の鐵産富源及びカブアス盆地の
農産大資源の發展に伴ひボンティアナは益々重要なるに至らむ。現今同地は然かく大ならざれども、
バンヂアルマシンに比し遙に健康地たり。土民にして漸次文明的風習と欲求とを達得し、惹て本土
の有せる廣大なる天然資源の開發に向つて努力すべき刺激を受くるに隨ひ、兩市の發展は共に期待
せらるゝ處たり。

二 對 外

蘭領東印度外領地に於ける商業統計は甚だ紛雜にして、例へば官營商品及び積換の爲め、爪哇送

りの商品は時に或は之を含め、又時に或は之を除外せるあるが如きは是れなり。

イ 輸 出

數量及價額 左表は一九一五年度蘭領東印度農商工務省報告によれる一九一三、一四年に於ける
輸出の摘要を示すものなり。

西部ボルネオ州

輸 出 品 目	一 九 一 三 年	一 九 一 四 年
護 謨 Ⅱ フ # カ ス	六六	一一八
同 Ⅱ ヘ グ # ア		
コ Ⅱ プ	不 明	二二、九三四
コ Ⅱ バ ル (ボンティアナより)	七九八	六四二
米 (サムパスより)		二九四
胡 椒 Ⅱ 白	五七一	八五六
同 Ⅱ 黒	七〇	一三四
藤 (ボンティアナより)	四、二五一	

南東部ボルネオ州

輸出品目	一九一三年	一九一四年
護 謨 フキカス	九九	三八
同 ヘヅキア	五	一五六
胡 椒 白	四六九	二八二
同 黒	二五三	二五三
藤 (バンザルマシン上り) (サマソングダより)	三、八七八 二、六七七	一、七〇九 不明

一九一五年度の輸出はボンティアナ及びバンザルマシンの兩地よりせるもの左記を含みたり。

輸出品目	ボンティアナ	バンザルマシン
護 謨 フキカス	三一二	三四三
同 ヘヅキア	一、二六三	二、一七
クダ・バルチャ其他	一〇、七二三	一六二
コ プ	一、六七二	一九八
ダ マ	三、二四〇	四、〇五七

輸出品目	一九一三年	一九一四年
椰子油	六一三、三三六	
白胡椒	二一七	
精製胡椒	二、五四二	
テカソソ樹心	六、四八一	
油	二、三〇三	

一九一四年蘭領ボルネオ産煙草は一四、九四二捆即ち約一、一四〇噸をアムスターダムに於て賣捌きたれども、一九一七年には「和蘭オバーストラス」に依託し約七〇噸の少量を同市場に送りたるのみなりき。

一九一三年蘭領ボルネオより種馬五、水牛一七、去勢牛四九八、牝牛四、牡牛三三、羊二一四、山羊三四二及び豚一、〇一三頭を輸出せり。

同年總輸出價額は六〇、〇〇〇、〇〇〇盾を超え、左表は即ち其一部を示す。(單位千盾)。

輸出品目	西部ボルネオ	南東部ボルネオ
椰子油	五一六	
椰子	六一七	
椰子	二一〇	

コ	ダ	グ	油	胡椒	石	坑	藤	護
五、七一八	四、四五	一、〇二六	二、一五六	四八八	一	一	五四六	三〇〇
一、一〇二	二、一一五	四六、四六四	五四五	一、四七九	一	一	一、四七一	一

蘭領東印度に於ける消費の爲めに販賣したる燃料其他石炭多量なるも、其は上記の計數に之を含まず。

一九一五年の輸出品中、金銀塊及正貨を除き、總價額は一〇六、一四九、〇〇〇盾なり。一九一六年には一一三、七二六、〇〇〇盾に昂進し、該増加の原因は主として西ボルネオのコブラ、護謨、胡椒及び椰子油、又南東部ボルネオの石油、護謨、胡椒及びグタ・ペルチャの増收にありき。仕向國 爪哇、外領及び餘國に仕向けたる輸出の三重別は即ち左表の示すが如し。(單位千盾)。

仕向國	一九一五年		一九一六年	
	西ボルネオ	南東ボルネオ	西ボルネオ	南東ボルネオ
爪哇	二、二九二	四、八一〇	三、二二〇	九、一七四
外領	六三八	一五、七六一	九五三	六、六七七
餘國	一〇、六二四	七二、〇二四	一二、六九四	八一、〇〇八
合計	一三、五五四	九二、五九五	一六、八六七	九六、八五九
總計	一〇六、一四九		一一三、七二六	

數量及價額 一九一五年ボンテイヤナ及びバンチャルマシンに於ける輸入は左を含めり。

輸入品目	ボンテイヤナ	バンチャルマシン
バター、(罐入)(廷)	六、一六二	八、六五四
米(同)	一四、七五六	五、六四八
寸(クロス入廟)	三一、九〇一	七一、四九九
小麥粉(廷)	三二九、八六五	二八三、二〇二

一九一三年蘭領ボルネオの生畜輸入は種馬一六、水牛五〇〇、去勢牛一、二四七、牝牛四二二、牝

牛八一六、羊六四八、山羊一、七六九及び豚二、三五五頭にして、一九一四年には種馬一、水牛一九三、去勢牛三、〇七三、牝牛一〇〇、羊四二四、山羊一、七二六、及び豚一、八一八頭を輸入せり。
一九一三年蘭領ボルネオへの總輸入価格は一九、〇〇〇、〇〇〇盾を超え、左記は即ち其一部なり。(單位千盾)。

輸入品目	四ボルネオ		南東ボルネオ	
	一九一五年	一九一六年	一九一五年	一九一六年
ビスケット				
化學藥品				
小間物類				
鐵器類				
粉類				
糧食(罐詰サイズ等)				
米				
織物類				
煙草、葉卷、紙卷				

一九一五年ボンタイアナ及びバンヂャルマシンに對する左記の輸入價額を含める蘭領ボルネオの

輸入總價額は二一、〇〇〇、〇〇〇盾を超えたり。(單位千盾)。

輸入品目	ボンタイアナ		バンヂャルマシン	
	一九一五年	一九一六年	一九一五年	一九一六年
陶器類				
小間物類				
鐵及鋼類				
織布及び綿絲				

一九一六年には輸入價額は二四、〇〇〇、〇〇〇盾を超過したり。兩州共に米に對する數に於ては増加ありて、南東部ボルネオに於ては殊に織物、機械及び砂糖の増加を見たり。
原産國 蘭領東印度以外の諸國よりせる精米の輸入は一九一三年三七、二四五噸、又一九一四年三二、七五一噸なりき。

輸入價額の振分けは左の計數略之を示す。(單位千盾)。

原産國	一九一五年		一九一六年	
	西ボルネオ	南東ボルネオ	西ボルネオ	南東ボルネオ
爪哇				
蘭領東印度以外諸國				

第七財 産

合 計	七、七一九	一四、二六九	八、八四一	一六、一二七
總 計		二一、九八八		二四、九六八

第七財 政

領土の財政及び通貨に關しては本叢書第三十卷「爪哇及マドゥラ」並に三十二卷「スマトラ」に於て叙述したり。蘭領ボルネオの税源は左の如し。

- 一、輸入及輸出税(輸入煙草中若干種に課せる小税を含める)。
- 一、鹽及阿片の專賣
- 一、金剛石採掘、アラック及酒精、渡船、質業、豚肉及び骸骨に對する税。但し免除の場合あり。上方クタイよりサマリダに搬出する木材價額に對する一〇%は即ち該港に於て輸出税として之を課す。

一、法定勞働の代用として土民に課する人頭税。

爪哇銀行はパンチャルマシン及びボンティアナに支店を有す。Nederlandsche Handel Maatschappij及び他の大なる和蘭の會社も亦ボルネオに於て支店を設く。

英國の資本は蘭領ボルネオの護護會社に數百萬磅に上れる額を投じ、且つ倫敦のシェル運輸貿易會社は既述せる如く Koninklijke Nederlandse Petroleum Maatschappij と合同にて當國土に於ける全石油生産を支配す。

第八總 説

國土の潜在的富源甚大なるに拘らず其大部分は猶ほ未開の儘に之を委せり。パンチャルマシンを距る僅に數哩を出でずして密林あれども、礦物探査の目的に對しては外國人に借地を許さず。但し蘭領東印度の居住者たるるとき農業に對する借地は外國人たりとも之を許せり。

此除外例を附し、以て蘭領東印度政府は和蘭國民若くは和蘭會社にのみ借地權を付與すること、せるも、借地權所有者は其利權を外國人若くは外國會社に讓渡するの權利を有す。本法律の目的は外國政府の政治的干渉を防止するにあり。名目上和蘭の事業たる各種企業に對し、ボルネオに於ける英國及び獨逸の資本と競争せんが爲め、米國資本の割込みを現今大に懲通するの傾向あり。

初發資本金二、〇〇〇磅とし、本社を紐育に又評議委員をバタビヤに置きたる「米國シンヂケート」と稱ふる一團を組織せん提議をなす者あり。且つ此親會社は東印度に於て藉を有すべき和蘭名義の補助諸會社を設け、之れが資本を管理すること、し、而して是等會社をして借地權を所有せしむる

こと、せり。同シンデケートは爪哇銀行の後援を得ること、し、且つ元來銀行は其特許狀面株式引受を禁せらるるも、其重役の一名委員に列することを得べし。同團體の特に眼中に置ける處はボルネオの企業にてありき。

爪哇銀行の副總裁 (Chairman) 氏は彼の數年前獨逸の資本家連によりて創設せられ、漢堡に本部、バタビヤに事務所を有せるストレイツ・エンド・スンダ・シンデケート理事の一人なり。此獨逸シンデケートは廣く蘭領東印度に於ける農業其他の企業に利害關係を有せり。同シンデケートは公稱資本金として數百磅を有するに過ぎざるも、戰前幾百萬馬克に達すべき社債發行を計畫せり。思ふに該社債は秘密裡に獨逸諸銀行之に應じたるもの、如く、シンデケートは爾來一九一二年中爪哇及びスマトラに於て六箇所の農園を開設し、毎次和蘭會社を組織し、獨逸シンデケート其全資本金を引受けたり。在バタビヤ (Batavia) 氏該シンデケートの首腦者にして、戰前ボルネオに於て同種の企業を計畫したり。日本及び蘭領ボルネオの直接貿易は益々増進し、一九一八年日本人はアナムバス及びタムピラン諸島より其所有船を以て續々コブラを採集せり。

ボルネオ隣接諸島

ボルネオ隣接諸島中、西部ボルネオの海岸に近接せる數箇の諸島は、管轄上リ○○○○及び屬地州に

之を含めたり。全人口は僅に數千を出でず。

ラウト島。延長五五哩、而してボルネオの南東海岸とは狹隘なる水道によりて分たれたる此森林島に關しては、既にスムブリムビンガンの炭坑及びスターゲン及びコタ・バルの二港に就て叙述したる處の如し。

Karimata 諸島。其數六〇を算し、ボルネオの西岸沖に位す。最大なるは大カリマタとして知られ、又稍大なるはカムボンなりとす。主としてリングガ及びシアよりの移住者たる諸島民は概ね漁業並に鐵工業に従ふ。

Natuna 諸島。ボルネオの西方支那海中に位する五五島よりなれる此一群中、秀で、大なるは大ナトウナナトウナ の名 Bunguran にして、面積凡そ六〇〇方哩を有す。土民は馬來人にしてリオウ及び新嘉坡に對し鱒魚、鼈甲、古々椰子、サゴ及び蓆等を商ふ。

Tambilan 及び Anamba 叢島。ボルネオ及びマラッカの間に介在し、主として漁業及びコブラの産出に従へる一小人口を有す。

附 録

ボルネオに於ける境界制定に關し一八九一年六月二日大不列顛國並に和蘭國間協約の抜萃

第一條 ボルネオに於ける和蘭領土及び同島に於ける英國保護領土間の境界はボルネオの東海岸北緯四度一〇分より起るものとす。

第二條 境界線は北緯四度一〇分より西方に繼續し、而してシメンガリス河及び Soedang 兩河の間はシメンガリス河を和蘭領土内に包有せしむるの目的を以て西北西の方向に従ひ、東徑一一七度の子午線と北緯四度二〇分の緯線との交叉點に及ぶ。更に境界線は西方に向つて北緯四度二〇分の緯線に従ひ、該緯線上に於てボルネオの北西岸に流る、河川と東海岸に流る、河川との間の分水線を形成せる山脈の頂上に達するものとす。但し四度一〇分以南に於て海に注げるシメンガリス若しくは其他何れの河川たりとも實測上五地理學的哩の半徑以内に於て當該提案たる境界線を交叉することを發見する場合には、境界線を轉位し以て當該河川の小部分若しくは屈曲部を和蘭領土内に包含せしむるものとす。又英國北ボルネオ會社の領土に於て四度一〇分以北に進出し而かも南方に轉せる河川に關しては上記と同様の認容を和蘭國政府に於て爲すものとす。

第三條 第二條に記載したる山脈の頂上よりボルネオの西海岸に在る Tandjong-Daroe に至るまで

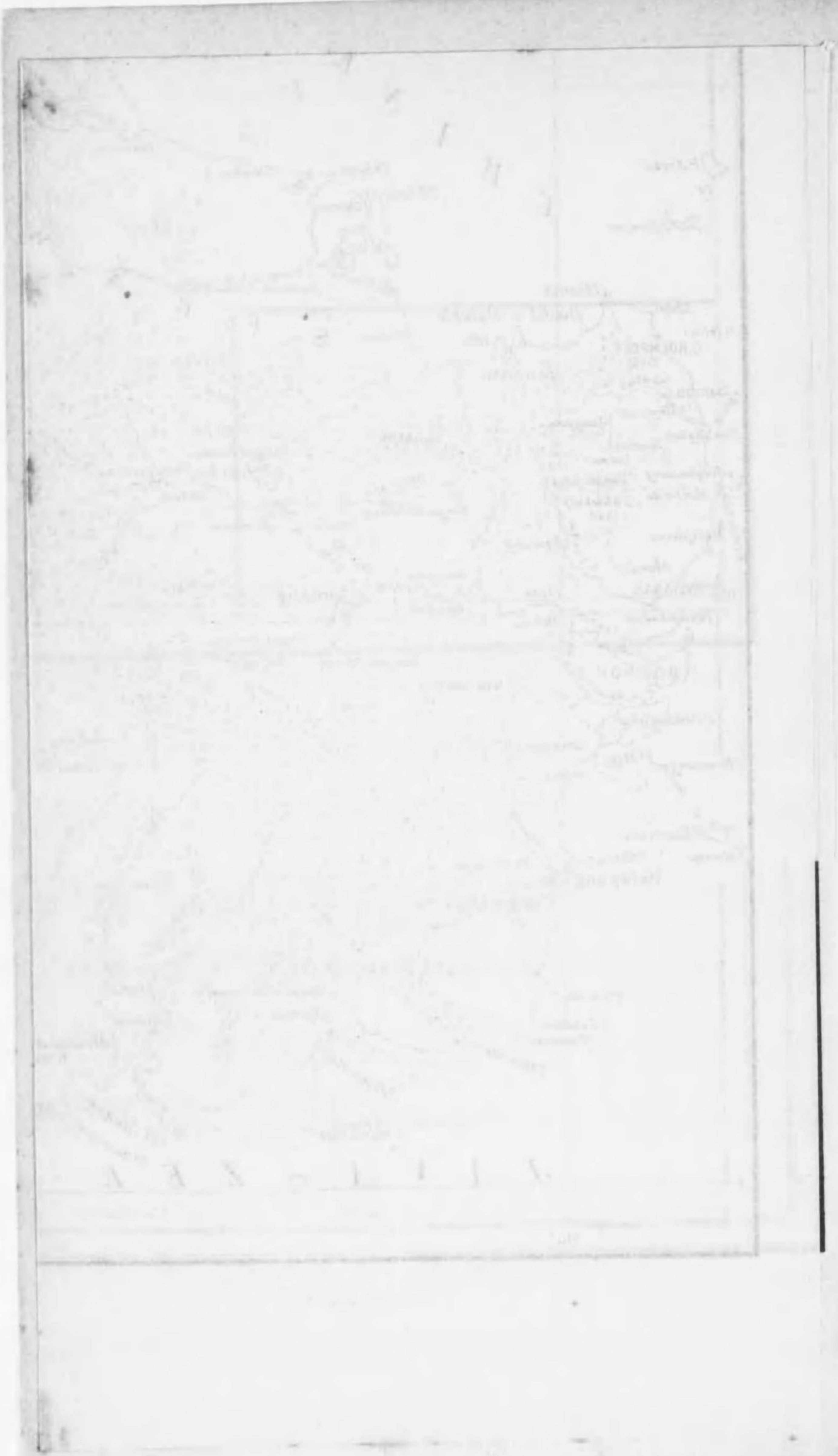
の境界線は、タンジョン・ダトゥ以北は北西及び西海岸に流る、河川の分水線、スタンジョン・ダトゥ以南は西海岸に流るゝもの、又北緯四度一〇分以南は南海岸及び東海岸に流る、河川の分水線に従ふものとす。

第四條 東海岸に於ける北緯四度一〇分よりの境界線は、^{スヒアイク}コルニニク島を横断し、該緯線を沿ふて東方に繼續することゝし、該緯線の北方に位する同島の部分は當然英國北ボルネオ會社に、而して該緯線の南方部分は和蘭に所屬するものとす。

第五條 以上四箇條を以て解説したる境界線の正確なる位置は今後和蘭國及び英國政府に於て適當と認むる場合に於て相互の合意によりて之を決定するものとす。

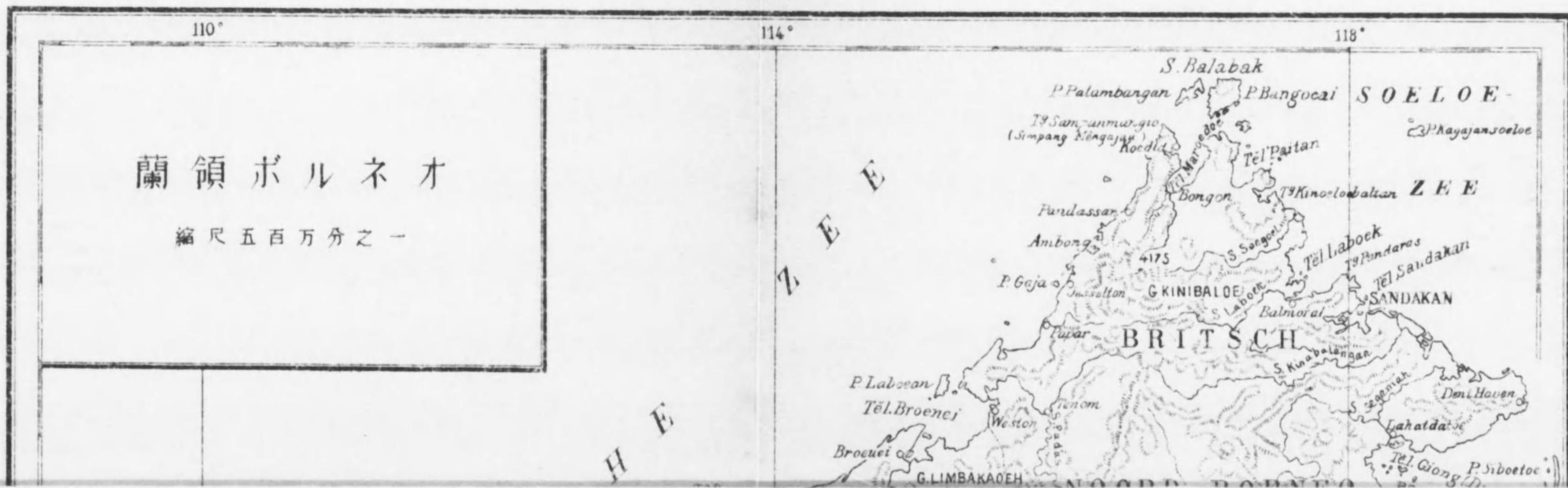
第六條 ^{バトウ・ティンガット}Patoo-Tinggat 及び ^{シボクケ}Siboekoe 間に於て海に注げる河川の航運は戦用物品の輸送に對するもの、外總て自由たるべく、而して當該河川を上りて通過せる他の物品に對しては運輸税を賦課することなかるべし。

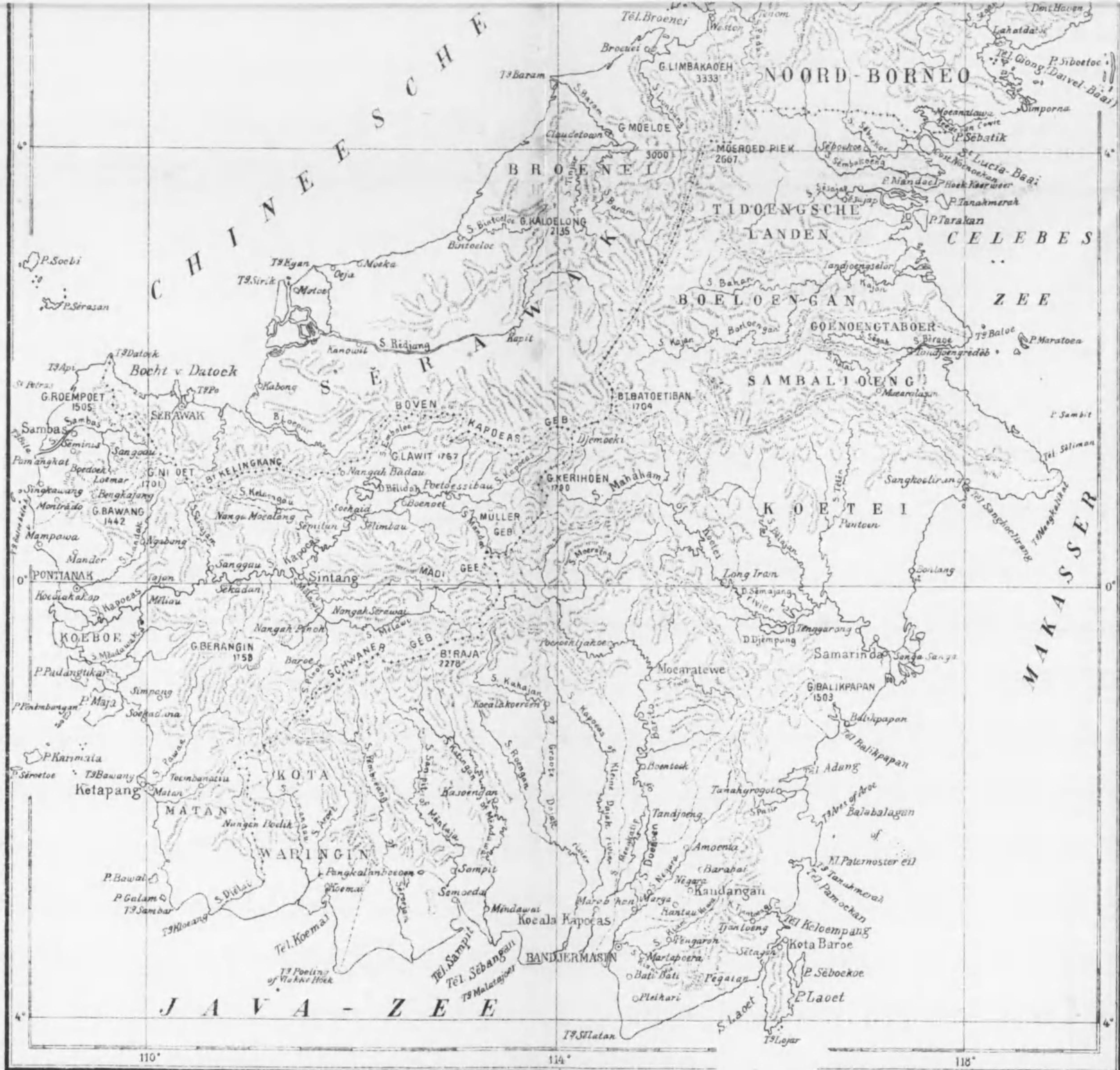
第七條 本協約調印の日より向ふ十五箇年間 ^{ポロンガン}Poelongan の住民は何等の税金を課せざるゝことなぐしてシメンガリス及びタソオ兩河間の地方に於ける叢林産物の採集を許さるべきものとす。



蘭領ボルネオ

縮尺五百万分之一





緯線の南方部分は和蘭に所屬するものとす。

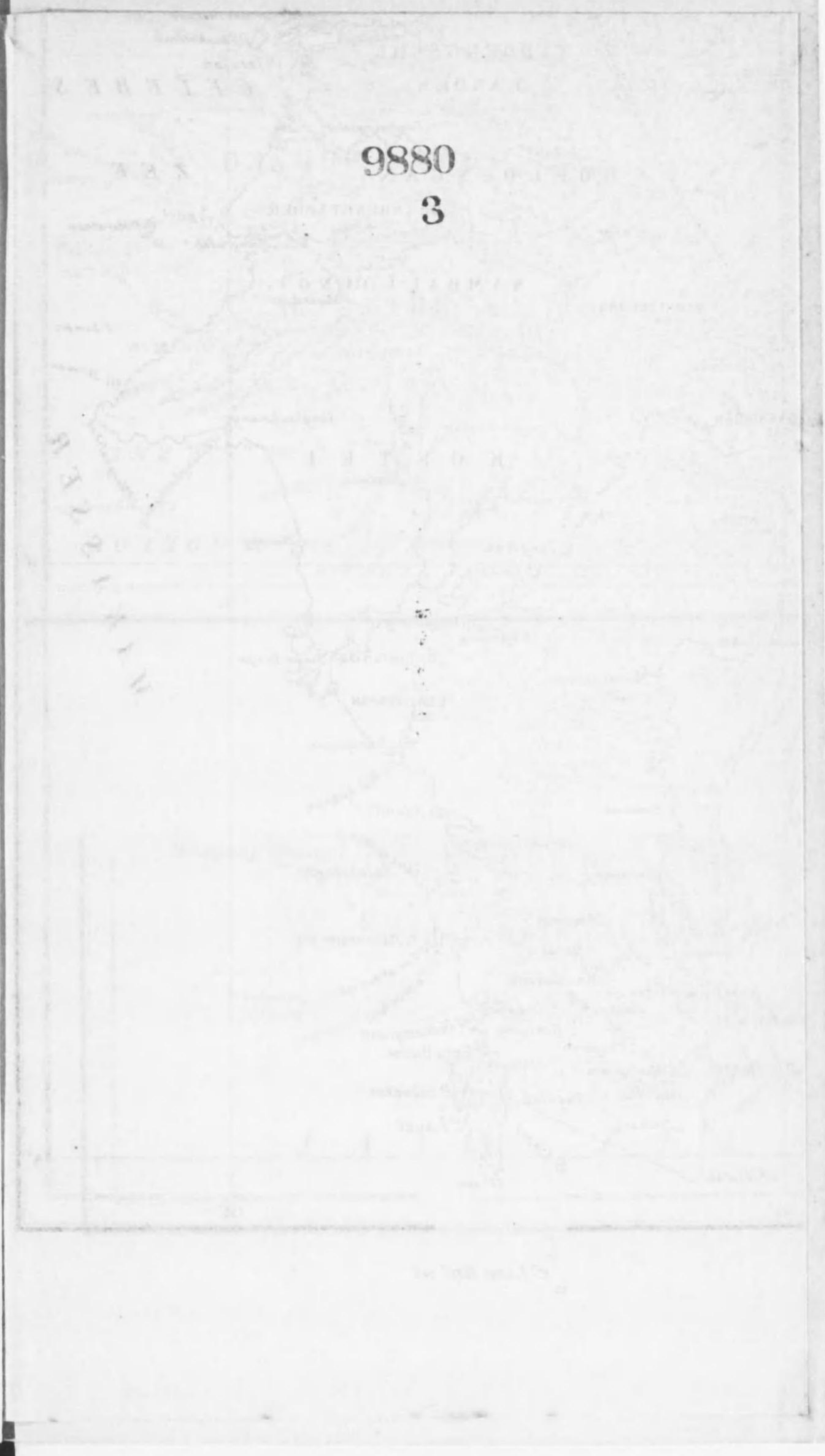
第五條 以上四箇條を以て解説したる境界線の正確なる位置は今後和蘭國及び英國政府に於て適當と認むる場合に於て相互の合意によりて之を決定するものとす。

第六條 Batoo-Tingat 及び Eihoeke 間に於て海に注げる河川の航運は戰用物品の輸送に對するもの、外總て自由たるべく、而して當該河川を上りて通過せる他の物品に對しては運搬税を賦課することなかるべし。

第七條 本協約調印の日より向ふ十五箇年間 Boeloungan の住民は何等の税金を課せざるゝことな
くしてシメンガリス及びタソオ兩河間の地方に於ける叢林産物の採集を許さるべしとの事。

○ Laot Ketjil eil.

9880
3



13865

不許複製

大正十三年八月十五日印刷
大正十三年八月十八日發行

以印刷代筆寫

譯者 遠山 靜二

發行者 伊藤 憐之助
臺北市新榮町一丁目十一番地

印刷人 山科 榮
臺北市表町二丁目八番地

印刷所 山科商店印刷所
臺北市表町二丁目八番地

發行所

臺灣總督府構內
南洋協會臺灣支部

構內電話八九番

南洋協會臺灣支部

南洋叢書

卷 1	比律賓群島に於ける護照栽培	15
2	蘭領スマトラ島の護照園	20
3	比律賓群島の開發	15
4	暹羅國の稻作及糯米業	45
5	緬甸事情	1.00
6	マツカ地方に於ける開墾事業	50
7	比律賓群島に於ける古々椰子	75
8	蘭領東印度に於ける樹液大要	1.15
9	比律賓群島に於ける農業の發達と對米貿易の關係	30
10	海峽殖民地に於ける苧麻栽培	35
11	蘭領東印度の教育制度	1.00
12	新西蘭の羊業概況	1.20
13	労働者の理想郷たる濠洲	30
14	蘭領東印度に於ける實業教育	45
15	比律賓と棉作	50
16	比島ダバオの富源と其開發	35
17	ブートン島農業經營論	80
18	比律賓のプリ椰子	25
19	蘭領印度の經濟	80
20	比律賓群島の米作	80
21	キャツサグアの栽培	50
22	石油生産地としての東方諸國	30
23	ウツド總督の教書	55
24	サイザル及龍舌草	1.50
25	布哇に於ける木瓜	50
26	蘭領東印度の産業	1.20
27	布哇の鳳梨事業	1.50
28	一九二一年度蘭印貿易大觀	1.80
29	佛領印度支那	1.50
30	爪哇及マドウラ	1.00
31	世界咖啡大觀	30
32	スマトラ	1.00
33	セレベス	80
34	蘭領ホルネオ	1.00
35	蘭領ユウギニア及モルツカス諸島	1.00

臺灣總督府構内
南洋協會臺灣支部

越村長次編
越智有編
櫻井芳次郎譯
鈴木進一郎譯
村社新譯
岩木龜彦著
小森德治著
越村長次譯
安重龜三郎著
加藤清之助著
越智有著
櫻井芳次郎著

南洋渡航須知
馬來語讀本
世界的食糧の給源
大戦前後 甘蔗甜菜兩糖の競争
英國穀物生産條例解説
最近三十年間に於ける日本の砂糖及其製品に關する調査
比律賓史
世界市場に於ける羊毛
南支油頭商埠
馬日辭典
マインツブル

特價金 二圓 (送料八錢)
定價金 一圓二十錢 (送料共)
實費金 三十五錢 (同)
實費金 一圓二十錢 (同)
實費金 六十錢 (同)
定價金 一圓八十錢 (同)
特價金 一圓五十錢 (同)
實費金 八十錢 (同)
定價金 八十錢 (同)
定價金 二圓 (同)
定價金 四圓 (同)
定價金 一圓八十錢 (同)

發行所 臺灣總督府構内 南洋協會臺灣支部

終